

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：R 6年 1 月 26 日

事業所名：発達支援ルームてとて

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3	7		・利用人数、活動によって変わる。・施設内が広いが活動により使い分けている。・利用定員の制限が必要な場合有。	22	1			・屋外でも過ごせて室内も部屋数が多く、過ごしやすいようです。	使用していない部屋もあり、目が行き届きにくい時もあるため、活動や状況により、使い分けるようにしている。
	2 職員の適切な配置	5	5		・今後、10人以上を受けるとは足りない。・その日の利用人数に応じて、スタッフが足りないなど思うときがある。・利用定員増時は考慮すべきである。	18	1		4		外出時や、10人を超える日は、安全性を配慮し、職員配置を多めにするなど、対処していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	3	7		・対応できる子もいるが、特性の幅が広いため適切でないこともある。・トイレなども、図や絵を貼り一目で分かるようにしている。・視覚的に絵カードや写真、スケジュールの提示を行っている。・情報伝達等、構造上難しい部屋数等改善すべき点はあるが、現状は整備の課題である。	22	1			・絵カードなど視覚的な援助をして頂き安心して繋がっている。(本人)	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	8	2		・毎日の掃除で清潔を保っている。ゆっくり過ごす場があればなお良い。・活動に合わせて生活空間は確保するよう意識している。・子供達の活動に応じた空間作りは努力している。	22	1			・絵カードなど視覚的な援助をして頂き安心して繋がっている。(本人)	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	3	7		・それぞれが意識して業務にあたっているが、話し合う場が少ない。・月に2回のミーティング、昼礼時の伝達等で行っている。・個人の見解の相違等があり、まとめる状況にすることが課題だ。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	1	6	2	・ミーティング時相談している。・わかりません。・認識不足で外部評価がなされているか把握できていない。						未回答1
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8	1	1	・今後は自分から見つけて参加していきたい。・定期的に研修日時、役割を発案している。						
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6	4		・児発管と職員も、モニタリングに参加したらどうか。・事前の情報収集や解決すべき課題のリサーチを工夫しなければならない。	22	1				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7	3		・ガイドラインに基づきの認識を深めることが課題である。	22	1				
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	6	2	1	・集団活動や個別活動の組み合わせを子供の特性により改善すべきだ。						子どもの状況に合わせて、個別・集団活動を臨機応変に変えるよう工夫していく必要がある。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	7	3	・計画を把握できていないところは認識しなければならない。	22	1		今後も引き続き、事業計画に沿った適切な支援を行っていく。		
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	7	3	・みんなで話し合って決めています。・周りのスタッフからアドバイスをもらい、立案を立てるようになっている。・チームで案を出し協力しプログラムの作成を手掛けている。						
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	6	4	・発達を見て判断しているため固定化したものもある。・活動の繰り返しが大事なので、どうしても固定化することもある。・少しの変化を加えるようにプログラムを作成している。・同じ活動の時もあるが、方法を変える工夫をしている。・子供の特性によっては固定化し、経験値を上げた方が良い場合があるのではないかと。	21	1	・事前にスケジュールがわかっていることで予約を入れるとき参考になりとても便利。 1・毎日違った内容をして頂いていて、2、3回と同じ内容をする時に理解が進み変化があることを聞けるのが嬉しいと思っています。	固定化している理由もあるため、毎回変更していく必要はないが、マンネリ化しないよう、楽しめる活動を提案していく。		
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	4	6	・その時の利用人数やメンバーによって課題を決めている。・毎日の活動に目的を明確にしている。・課題を決めてはいるが、細やかさを求める上では設定基準を定めなければならない。						
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	8	2	・昼礼を行い情報共有している。・子供たちが来る前に昼礼などで確認している。・しっかりやっている日と出来ない日がある。ねらい、目的を活動の内容と一緒に皆に共有してはどうか。・職員間で打ち合わせを行い支援にあたっている。				安全体制や、支援・ケア等、細やかに申し送り等行っているが、引き続き、その日のリーダー・担当を細かく決めることで、適切な支援ができるように工夫していく。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	8	2	・業務状況によっては後日行っている。・終了後には時間がとれないがその都度話し、翌日ミーティングなどで共有している。・支援記録の記入時などに振り返りを行っている。・職員間の声掛けにより情報共有に努めている。						
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	5	5	・連絡帳に活動記録を書くのも誰でも書けるようにしている。・日々、記録はとるよう心掛けている。・職員間のモチベーション等がコミュニケーションをとりながら支援に努めることが課題である。						
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6	4	・以前と比べると、モニタリングもよくしている。・モニタリングの共有と計画の見直しに向け判断材料を密にしなければならない。						
	関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	7	3	・担当を今後決めていき、担当者が出来るようにしていく。・職員も順番に参加してはどうか。・情報共有に重きをおき皆が精通した人材になるべく取り組む。				担当制をとっていくことにした。担当者が中心となり、保護者からの相談や相談員との密な連携などを担っていくことで、より細やかな支援ができるようになって考えている。	
		2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		3	1	・地域との連携が今はとれていない。・個人情報を含む場合があるため、共有や調整の線引き等課題が残る。			未回答5	
	関係機関との連携(続き)	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		3	1	・連絡体制をどこまでとするか保護者との連携を深めなければならない。			未回答5	
4		児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	2	6	2	・移行支援をまだ経験しておらず分からない。・送迎時に担任教諭と双方の情報交換をしている。・支援内容等の十分な情報共有のためには関係機関との間の声掛け等を深めることが課題だ。					
5		他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	2	5	2	・わかりません。・機会があれば他事業所との情報共有に努めていきたい。・支援内容等声掛けを重視する等が改善すべき点ではないかと。			未回答1		
6		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	4	2	・出来ていると思います。・今年度はセンターからの研修は受けていない。療育センターの研修があったが、私自身は受けられなかった。・子供の特性に応じた助言等、深い関りが課題である。					
7		児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	4	2	4	・季節の行事で行っている。・行事の時に近くの保育園と交流したり、いろいろ公共の場にも出かけている。・コロナ禍もあったため交流や活動の難しさはあったが、今後は機会を作ることが課題だ。	8	1	2	12	・感染症予防の観点からは現状で良いと思う。
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に関わった事業の運営		1	9	・行事が決まれば招待する機会を設けたい。・コロナがあつてから活動出来ない。・コロナ禍もあったため、招待等開きにくかったが、今後は運営計画をすることが課題だ。					「地域交流室」を利用し、地域の方や子どもを招いて、行事や交流が行えるよう、今後、計画をしていきたい。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4	4	1	・わかりません。・説明上において家庭の事情等の考慮の課題がある。	22	1				未回答1	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6	4		・行っていると思う。・計画を示しながらの丁寧な説明を全保護者の協力のもと行うことが課題だ。	23						
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	5	4	1	・必要を感じてはいるが、家庭状況を見ると難しい。・よくわかりません。・対応力の向上のため、保護者とのコミュニケーション能力を高めることを課題とする。	10	4	3	6		現在、保護者を招いてのペアレントトレーニングは行えていないが、今後、必要に応じて、計画したい。	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6	4		送迎時や必要に応じて電話等で連絡をとっている。・日頃から子どもの様子は観察出来ている。・伝えきれていない部分はあると思う。・保護者への説明等理解を深めるよう努めている。	20	3					
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	6	3	1	受けた相談は内容によっては共有し、対応を相談している。・出来ていると思います。	20	1	2				
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	3	6	・家族参加のイベントを予定している。・去年から夏祭りをしていて、その時に保護者同士で交流できるようにしている。・父母の会に参加できていない。・夏祭りをを行い、保護者間の交流の場を設けた。・保護者同士の連携についての支援を行っていきたいが家庭の事情の考慮も必要だ。	8	2	7	6		年に1回、夏祭りを開催するようになり、多くの保護者が来られるようになった。今後は、さらに、保護者同士での交流の場を持てるよう、計画していきたい。	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	9		1	・苦情があったら、伝達ノートに書き、みんなで対策などを話し合っている。・今後苦情があれば迅速に対応していきたい。・保護者への説明等納得のいくよう相談に応じ歩み寄っている。・当日、もしくは翌月には苦情処理の徹底を促している。	16	2		5	・心配に感じたことをお伝えした際、すぐに対応して頂き安心できました。	苦情や要望に対しては、直ぐにその場で現状を確認し、原因や今後の対策を検討したり、改善したりしていく。引き続き、気が付いたことや、思っていることを、伝えていただけるよう、日頃から、信頼関係を築いていきたい。	
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	7	2		・視覚的に写真や絵カードを利用。・コミュニケーションをはかり声掛けをするよう工夫している。	19	4					
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	5	5		・Instagramで活動報告をしたり、予定表は配布している。・発信はしていくがどれだけ注目してもらえるかが課題だ。	23					Instagramで、活動の様子を発信しているが、活動の様子だけでなく、施設の様子や職員紹介等もできたらよいと考えている。	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	9	1		・Instagramの写真など十分配慮している。・他に漏らさないように努めている。・職員間においても十分注意し配慮している。	22	1				個人情報については十分配慮し、注意をしている。	
	非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6	3	1	・マニュアルを収集し細かい点まで周知する工夫をしている。	17	3		3		
		2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	6	3	1	・一部出来ていない。今後準備している。・定期的には避難、救出は行っていない。・定期的に訓練を行い、行事計画を立て工夫している。	19	2		2		最低限の避難計画・訓練はできているが、今後、さらに定期的な訓練が必要と考えている。
	非常時等の対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	9	1		・職員間の研修日程を組み、確保のため工夫している。						委員会を開催し、職員にも周知・研修・聞き取りなど行っている。引き続き、虐待・不適切な支援について、学んでいきたい。
4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		3	7		・現状、身体拘束をしていない。・よくわかりません。・非常時等の対応について、保護者からの理解を深めていけるかが課題だ。							
5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		5	4		・アレルギーのある子のリストは冷蔵庫に貼ってある。・全ての子どもに対して指示書の把握を深めることが課題だ。						未回答1	
6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		8	2		・その都度書き、ミーティングの時にみんなで共有する。・事業所内で共有し認識を深めるよう工夫している。						その都度、記入し、共有しているが、まだまだ、数が少なく、「書かなければいけない」意識が強い。自然と記入ができるような風土になると良いと思う。	